

埼玉県立大学研究開発センター シンポジウム 2020

支援者をいかに支えるか ～都道府県の立場から～

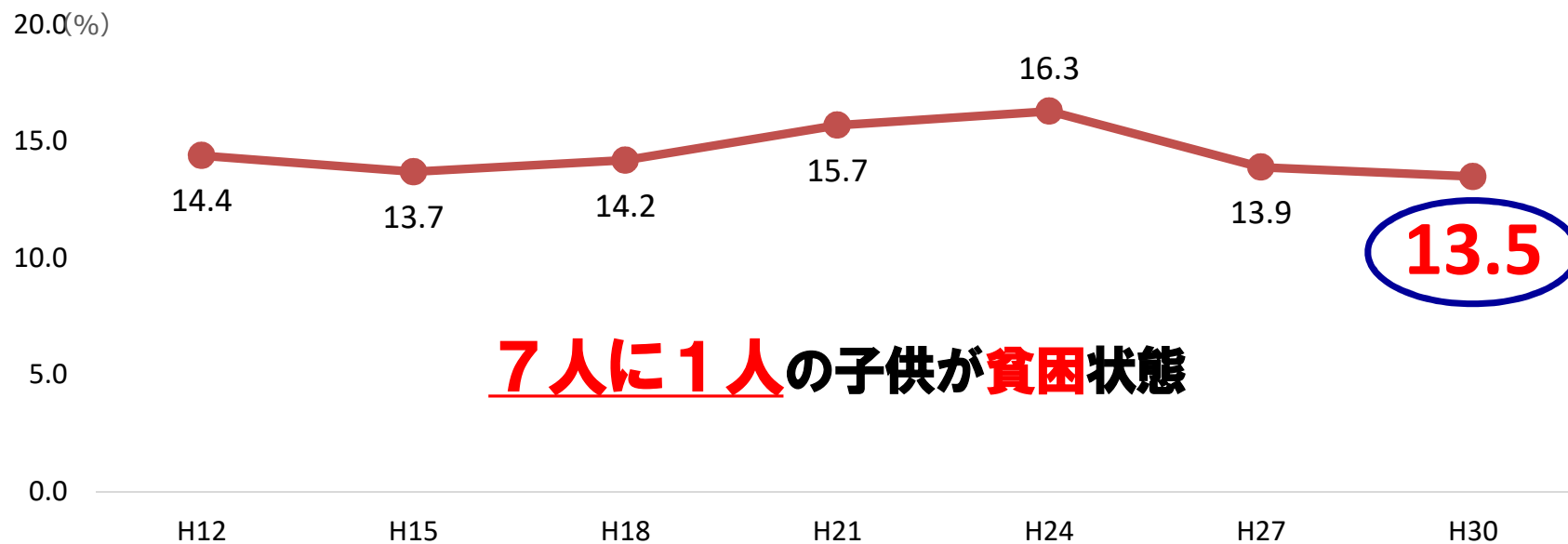
埼玉県 福祉部 少子政策課 副課長 古川 泰之



こども応援ネットワーク埼玉

子供の貧困について①

子供の貧困率（相対的貧困）



7人に1人の子供が貧困状態

厚生労働省の国民生活基礎調査

相対的貧困とは

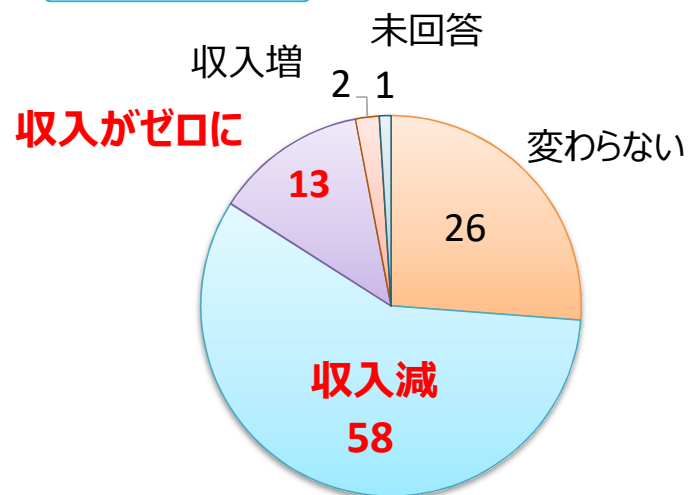
「当たり前」の生活が営めない状態

- 例) ・3食きちんと食べられない ・修学旅行に行けない ・塾に行きたくてもいけない
- ・部活動の道具やユニフォームが買えない ・家が狭い、うるさい、机もない

子供の貧困について②

新型コロナによる母子家庭の生活の変化

収入の変化



食生活の変化

1回の食事量が減った	14.8%
1日の食事回数が減った	18.2%
お菓子やおやつを食事の代わりにすることが増えた	20.1%
炭水化物だけの食事が増えた	49.9%
インスタント食品が増えた	54.0%

※NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」のアンケートより。
約2,000人が回答

- ・子供は学校が休みの日は給食がないので2食、自分は1日1食
- ・子供の朝食を抜き、昼食としてお菓子を食べさせ、夜だけご飯を食べている
- ・上の子供がアルバイト先からもらったパンを冷凍保存して食費を浮かせている

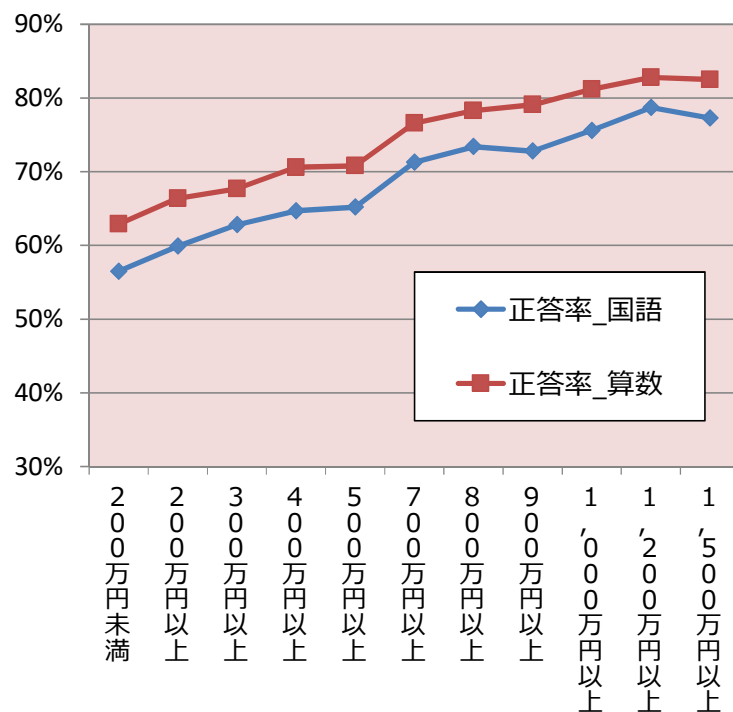
コロナ禍により子供を取り巻く環境は厳しさを増している

子供の貧困について③

世帯収入と学力・学歴

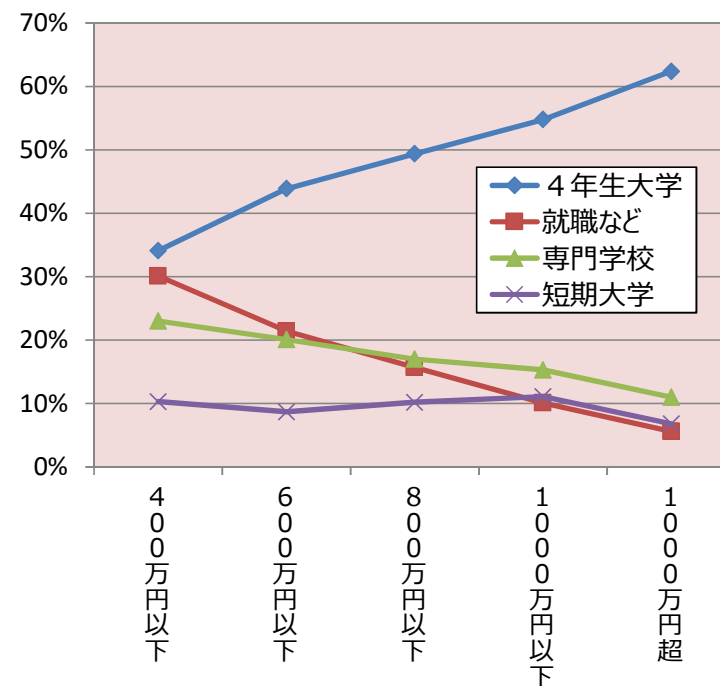
世帯収入と子どもの学力の関係

(文部科学省 御茶の水女子大学委託研究H21年度)



高校生の進路追跡調査

(東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策研究センターH19年)

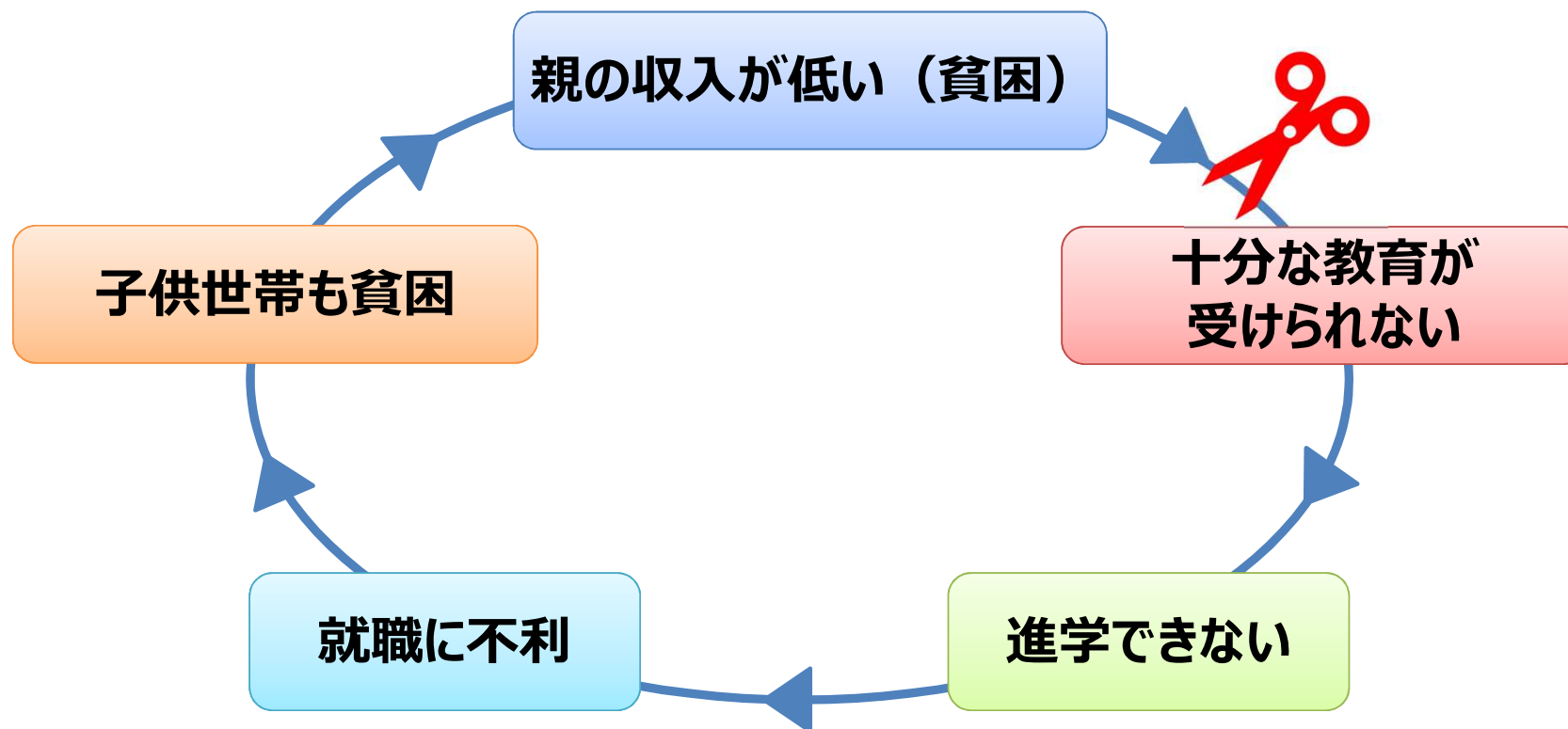


彩の国子ども・若者支援ネットワーク 白鳥勲先生 講演資料より

世帯収入と学力・学歴には強い相関関係があることが見て取れる

貧困の連鎖の解消

貧困を放置すると親から子へ連鎖する

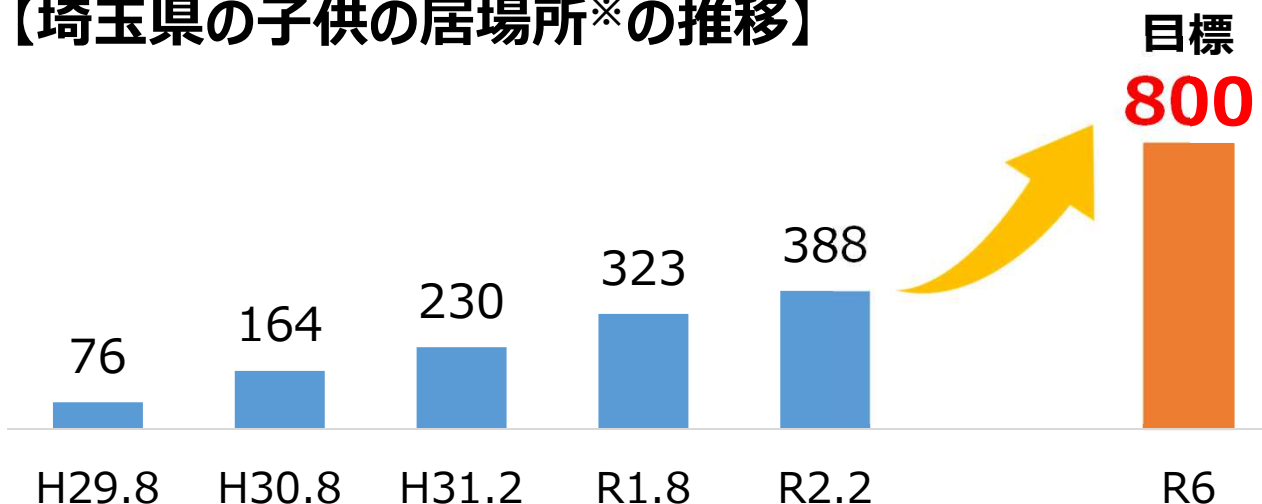


貧困の連鎖を断ち切り
同じスタートラインに立てるよう環境整備が必要

貧困の連鎖を断ち切るための埼玉県の取組み

貧困の連鎖を断ち切るには、生まれた環境に左右されず、**自己肯定感を養うための「居場所」**が必要

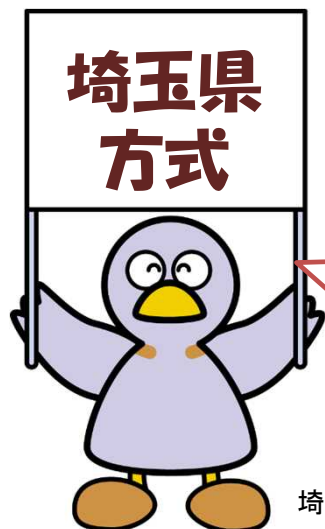
【埼玉県の子供の居場所※の推移】



(※子ども食堂、プレーパーク、無料学習塾など)

子供が歩いて通えるよう
小学校区の数と同じ
800か所を目指す

「埼玉県方式」とは



埼玉県のマスコット「コバトン」

- ・主役は「民」。民のパッション、エナジーを最大限引き出す！
- ・県は信用力を生かし、とことんサポート！

「埼玉県方式」の3つの柱

こども応援ネットワーク埼玉

民主導の取組
を支える
プラットフォーム



こどもの居場所づくりアドバイザー

多彩な人材が
ノウハウを伝授



こども食堂応援基金の設置

民の寄附による
持続可能な財源



「埼玉県方式」による子供の居場所拡大

1. こども応援ネットワーク埼玉（H30.12設立）

- ・民間主導の取組を支えるプラットフォームとして設立
- ・県は支援先とのマッチングやFacebookなどによる情報発信
- ・緊急事態宣言時には、休校に伴う余剰給食食材など約37トンの食材をマッチング
(例：精米3トン、冷凍ハンバーグ22,000個、冷凍鮭フライ6,400個、ソーセージ4,500個)



創造性・革新性のある埼玉県の子ども食堂

多様な形で進化する埼玉の子ども食堂

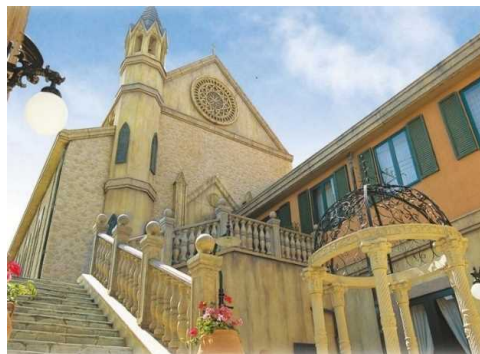
葬祭場を活用した子ども食堂 (株)メモリード



農業体験&子ども食堂 畑こども食堂



結婚式場での子ども食堂 アルファクラブ武蔵野(株)



高校生による子ども食堂 筑波大学附属坂戸高校



2. こどもの居場所づくりアドバイザーの派遣（R1.5～）

多彩なアドバイザーをラインナップ

- ・子ども食堂などの居場所づくり実践者
- ・弁護士や税理士、食品衛生、広報、ITなど各分野の専門家

41の
個人・団体



埼玉県子ども食堂ネットワーク
本間 香 氏（子ども食堂）



埼玉フードパントリーネットワーク
草場 澄江 氏（フードパントリー）



彩の国子ども・若者支援ネットワーク
白鳥 勲 氏（学習支援）



NPO法人 食生態学実践フォーラム
針谷 順子 氏（食育）



弁護士
清水 徹 氏（法律相談）



税理士
岡田 和巳 氏（会計相談）



アクシア株式会社
田中 理恵 氏（広報・IT）

派遣回数334回
立上げ件数45か所

R1年度実績

3. 子ども食堂応援基金の設置 (R1.5~)

- ・個人や企業からの寄附により**県費に頼らない持続可能な財源**を確保
- ・これまでの**寄附受入額は826万円** (R2.8月末現在)
- ・継続的な寄附につながる**取組も拡大中**



売上の一部を自動的に寄附



遺贈 + 手数料の一部を寄附



私募債発行手数料の一部を寄附

コロナ禍における対応

コロナ禍の中だからこそ、支援を必要とする人のために「**今できること**」をする

カタチを変えて継続



子ども食堂によるパントリー活動



ドライブスルー方式による弁当配布

最も必要な支援を



冷凍庫贈呈式 (R2.5.25)



県庁フードドライブ



ヤオコーによる米の定期的な寄贈



輸送ボランティアの募集・マッチング

新たな展開①

～ 子ども食堂のバージョンアップ ～

子ども食堂を子供たちの「生きる力」を育む場所へのバージョンアップを検討



担い手である大人も自己実現

1st 生活支援

- ・ご飯を食べお腹を満たす

H29 76か所

2nd 自己肯定感を育む

- ・地域社会との繋がり
- ・信頼できる大人との出会い
- ・安心な居場所（子供にも親にも）



H30～R1 262か所

3rd 人生を切り拓く力を育む

- ・学びの場の提供（IQ）
- ・様々な体験活動（EQ）

子ども食堂 + 学習支援
体験活動



R2～

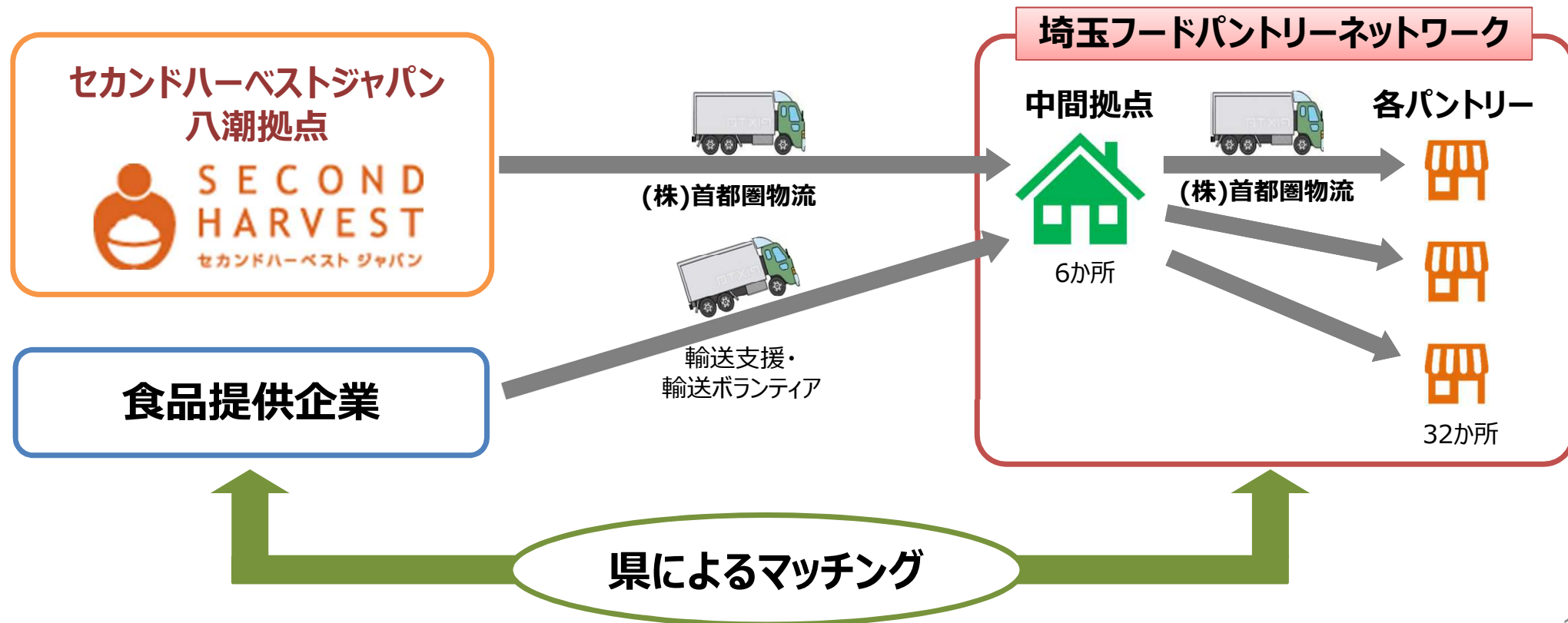
フードパントリーとは？

食品企業や農家などから食料の提供を受け、生活に困窮するひとり親家庭などに無料で手渡すための拠点



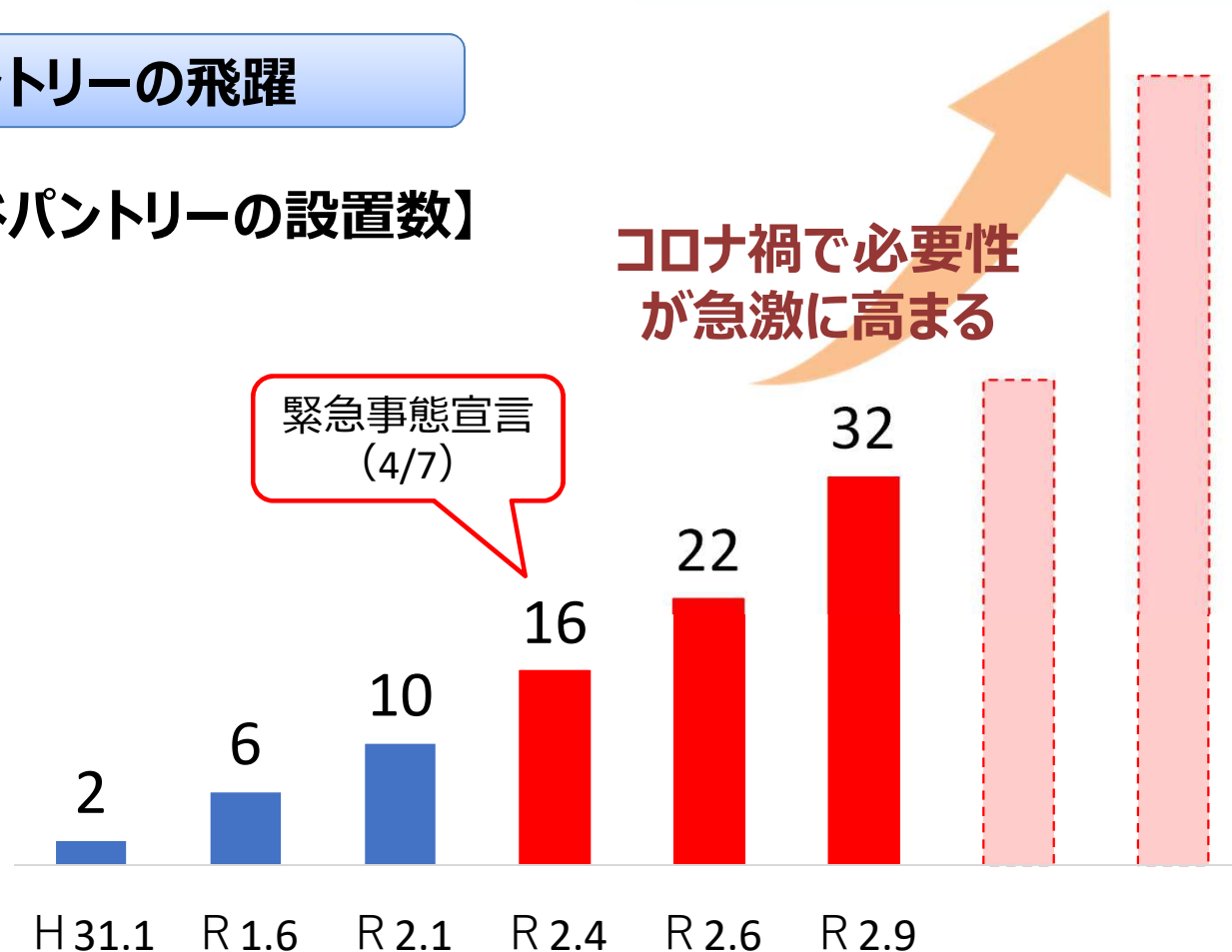
埼玉のフードパントリーの強み

国内最大のフードバンクであるセカンドハーベストジャパンや物流企業等との連携により、強固なネットワークを形成した



フードパントリーの飛躍

【埼玉県のフードパントリーの設置数】



真に支援が必要な子供たちの食を守る！

企業による協力事例集

(株) ヤオコー

毎月100袋のお米を提供

子ども食堂とフードパントリーに毎月100袋のお米を提供
現地までの輸送も同社が実施



アルファクラブ武蔵野（株）

セレモニー会場をフードパントリー開催会場として提供

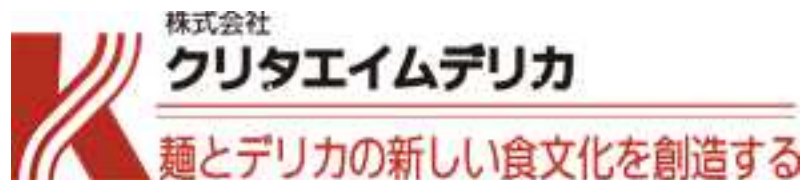
同社が運営するセレモニー会場をフードパントリー会場として提供
会場の近隣のフードパントリーと協力し、活動を実施



(株) クリタエムデリカ

廃棄予定の食材と保管場所の提供をセットで実施

同社のフードロス削減の取組とタイアップし、フードパントリーネットワークに対し、廃棄予定の食材と保管場所を提供することで、フードパントリー活動団体が抱える食材と冷凍庫不足の課題を解消



(株) 首都圏物流

フードパントリー向け食料の輸送支援

セカンドハーベスト・ジャパン埼玉拠点（八潮市）と
各パントリー間の食料の輸送を無償で実施



J Aグループ（くまがや・ひびきの・花園・ふかや）

J Aグループの野菜を子ども食堂へ

農産物直売所と子ども食堂をマッチング
県北の4つのJAをモデルにして、県内全域へ横展開へ



I K E A 新三郷店

子ども食堂向けに冷蔵庫・冷凍庫の一部を提供

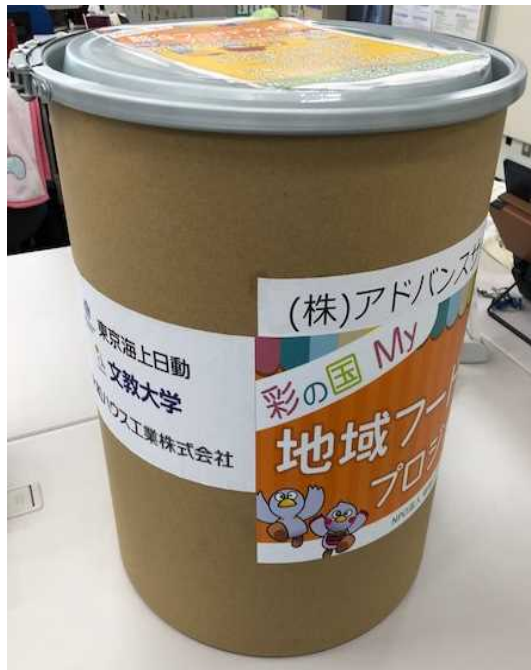
冷蔵品・冷凍品の保管に課題を抱える子ども食堂への支援として、近隣で活動する子ども食堂に対して、店内の冷蔵庫・冷凍庫の一部スペースを提供



明治安田生命保険相互会社 越谷支社

フードドライブボックスを社内、得意先に設置

営業社員が定期的に回収し子ども食堂へ提供
ネットワークの会員募集を県に代わって行う活動



子供は将来の**社会の宝**

生まれ育った環境の差で能力や才能の芽を摘んではならない

子供の**誰もが**将来に夢と希望を持てる社会をつくりたい

埼玉県は、これからも**子供の居場所**を全力でサポートしていく